

あま市民病院だより ～マンモグラフィと乳がん～

マンモグラフィ検査とはどんな検査？

マンモグラフィとは、乳房のレントゲン撮影のことです。乳房を引き出して専用の装置で左右の乳房を片方ずつ挟み、押し広げて撮影します。圧迫する時間は片側10数秒ほどで、乳房の圧迫により痛みを感じることもあります。月経前1週間を避けると痛みが少ないと言われています。薄く伸ばすことで病変を見つけやすくなり、放射線による被ばく量も減らすことができます。

マンモグラフィの必要性

日本では乳がん罹患率が年々増加し、女性のがんの第1位になっています。しかし、早期発見できれば乳房を温存する治療法などの選択の幅が広がり、さらに完治する可能性も高まります。乳がんは自分で乳房をチェックすることで見つけれられる場合もありますが、初期の小さながんはしこりとして触れません。自覚症状がなくても定期的に検査を受けることが大切です。

■乳がん早期発見のために

日本人女性の乳がんの罹患率は30代後半から増加し、40代後半と60代前半がピークとなっています。日本では40歳以上の女性に対して2年に1度検診マンモグラフィが推奨されています。日頃から乳房をチェックする習慣をつけることも早期発見につながります。

■当院の装置はトモシンセシス(3Dマンモグラフィ)を搭載しております

トモシンセシスとは乳房をさまざまな角度で撮影する最新の検査機器です。立体的に画像化することで通常の2D撮影(マンモグラフィ)では乳腺に隠れて発見できなかった病変が見つかりやすくなります。2D撮影と同時に撮影できるため、撮影回数が増えることはありません。



検診は何も症状のない方が対象なので、検査の方法が決まっています。症状や心配なことがある場合には、検診の方法とは調べ方が違うこともあります。検診を待たずにすぐに医療機関を受診しましょう。

当院では検診マンモグラフィを月～金曜日、乳腺外来を月曜日午前に行っております。

◇◆◆あま市民病院Facebookのご紹介◆◆◇

あま市民病院の活動やお知らせなどをFacebookでも発信しています。



<https://www.facebook.com/amahosp/>



公益社団法人

地域医療振興協会

あま市民病院

～市民と連携機関に信頼され、健康と安心を提供する病院～

〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地

問合時間：午前8時30分～午後5時

(土・日曜、祝日を除く)

☎ 444・0050 FAX 444・0064

<https://www.amahosp.jp/>

